

図3 継代培養における細胞密度の推移

(2) 継代培養試験2 (培地)

水温30℃、光強度60 $\mu\text{mol}/\text{m}^2/\text{s}$ 、塩分濃度34%、試験開始密度 40×10^4 cells/mlの条件での培地と継代後の細胞密度との関係を図4に示した。P-E S 改変培地区は7日目に 240×10^4 cells/mlの最高値を示し、その後徐々に減少した。E S M培地区でも培養7日目以降、細胞の増殖が認められたが、P-E S 改変培地より増殖速度は遅かった。

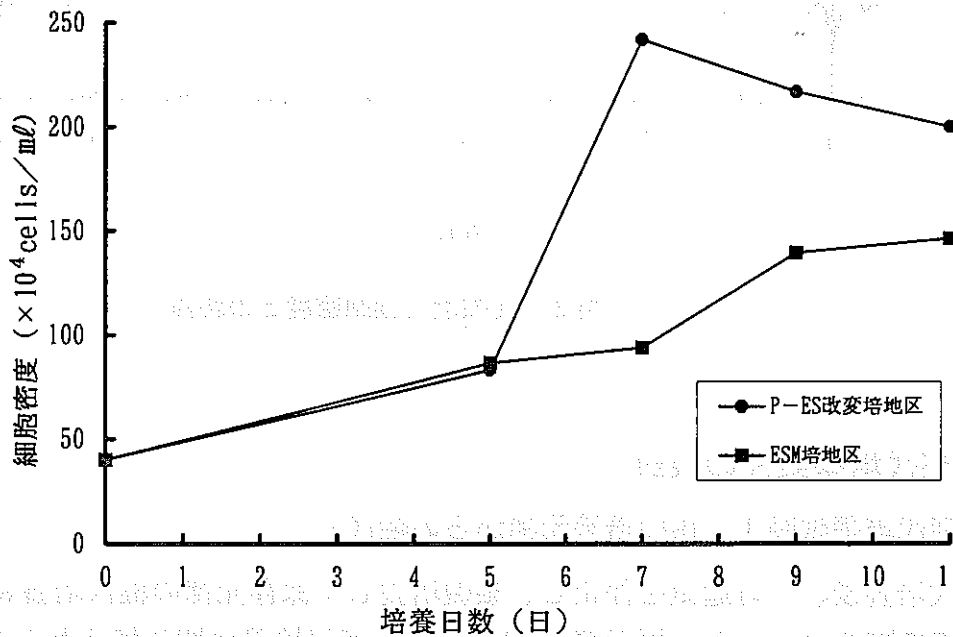


図4 培地と継代後の細胞密度との関係